

アンナ・サワイにビビッと

「SHOGUN 将軍」エミー賞キャストینگ賞



エミー賞のトロフィーとともに「SHOGUN」の手応えを語る川村さん（東京都内）

エミー賞18部門受賞の快挙を遂げたデイズ・ニイ製作のハリウッド時代劇「SHOGUN 将軍」。キャストینگ賞の受賞者には、電通キャストینگ・アンド・エンタテインメントの川村恵さんが名を連ねている。陰の立役者とも言えるこの仕事への思いを、川村さんに尋ねた。

脚本に基づいてオーディションを企画し、役に合う俳優を監督やプロデューサーに提案するのがキャストینگ。「作品が評価される枝葉の一つとしてキャストینگもあるので、本当に光栄。奇跡が起きたって感じ」と受賞を喜ぶ。

電通グループでエンタメ雑誌などを長年担当した後、同社が関わった2005年公開の映画「亡国のイージス」で初めてキャストینگを担当した。海外作品では、遠藤周作の小説を映像化した米映画「沈黙」サイレンス」に参加。実績が認められ、本作でも声がかかった。

主人公・虎永役の真田広之はすぐ決まったが、他の配役には慎重だった。コロナ禍だったこともあり、撮影地のカナダに10か月間こもることに難色を示す者もいた。海外のオーディションでは、役にふさわしければ有名、無名は関係ないといい、オンラインを駆使し、10人以上のオーディションを行った。

印象深いのは、主演女優賞に選ばれた響子役のアンナ・サワイだ。通訳の役なのでネイティブの英語力と日本語力があり、

（辻本芳孝）